

## 義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ⑯

高谷中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第16回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和6年2月17日（土） 10時00分～11時30分
- 2 会 場 信篤公民館 第2会議室
- 3 委 員 ・ 大学教授（委員長）  
・ 各学校（高谷中・信篤小・二俣小）の学校運営協議会代表（13名）
- 4 内 容 ・ 令和6年1月に実施した意識調査、プロジェクト会議、児童生徒の取組の報告  
・ 検討委員会の今後の方向性についての協議
- 5 説明事項及び協議内容

※ 市川市教育委員会の説明事項の概要は、「会議資料」をホームページに掲載していますので、詳しくは、そちらをご覧ください。

【教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会】

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu20/1111000002.html>



## 報告

## (1) 意識調査について

令和4年度から5年度に実施した意識調査を比較し、平均値や単なる数字の積み上げではない、見えない成果と課題を可視化するため、委員長（大学教授）が意識調査のデータ解析を行い、このうち、児童生徒の学力について、報告しました。

○実施期間 令和6年1月26日（金）から2月1日（木）

○回 答 数

	高谷中学校			信篤小学校			二俣小学校		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
児童生徒	358	338	308	316	403	240	134	138	77
保護者	156	237	110	299	341	291	77	68	51
教職員	27	26	18	27	32	23	19	21	12

## ＜意識調査のデータ解析から見た成果と課題＞

## ①信篤三つ葉学園（に求められる）の学力の構成について

- ・ 学習の活用力において、勉強した内容が他の授業や場面で応用・活用できることが求められている。
- ・ 学力が身についたという実感をするには、理解力（判断力と構想力）が必要になる。
- ・ 主体的な学びが非常に重要であり、発信力と対話力が必要になる。
- ・ 発信力…「授業で自分の考えや思いをグループの中で発言し、その中で自分の考えを修正できる力」
- ・ 対話力…「コミュニケーションの中で自分も友達も共に新しい問題にチャレンジしていく力が形成されること」
- ・ この2点が、主体性を発揮できる学力の中心的なものになる。

## ②高谷中学校の学力について

- ・1、2年生は、発信力と対話力が学力に大きな影響を与えている傾向がみられる。
- ・3年生は、学力を身に付けていく中で対話力と発信力をいかに組み合わせていくかということが、学力向上のためには重要である。
- ・活用力・応用力を伸ばすためには発信力・対話力が必要である。
- ・発信力・対話力は、通常は探究学習で力がつき、他のところは知識習得型の学びにより力がつく。

## ③信篤小学校の学力について

- ・信篤小学校全体として「勉強への意欲」は伸びている傾向にある。
- ・3、4年生については、授業の積極性・発言意欲が伸びている傾向がみられる。
- ・5、6年生については、対話力が勉強した内容を活用する力に良い影響を与えている傾向がみられる。

## ④二俣小学校の学力について

- ・3年生は、発信力が勉強意欲、やる気に影響を与えている傾向がみられる。
- ・4年生は授業の積極性・発言意欲が伸びている傾向がみられる。
- ・5、6年生は、授業への積極性や発言意欲が学力を推進している傾向がみられる。
- ・6年生は信篤小学校と異なり、勉強へのやる気が出てくると、応用力・活用力に影響する傾向がみられる。

## ⑤総括

- ・主体的で能動的な学びへ移行しつつあることが顕著であり、発信力・対話力がポイントになっている。
- ・主体的な学びができつつあることは、これまでのデータでは言えなかったこと。
- ・前回のまとめでは、「児童生徒の教育効果を上げる可能性をさらに引き上げるためには、他者との積極的な交流と自己の振り返り、つまり発信力・対話力を鍛える必要があり、そこに課題があった」
- ・今回は、前回の課題が徐々にクリアされていることが分かった。

## ⑥まとめ

### 【成果】

- ・対話力、発信力が、学力を主体的に付けていく推進力になっており、前回の課題に対する挑戦をクリアすることができている。

### 【課題】

- ・発信力、対話力を高めるために、探究型知識を高めていくことが重要である。
- ・高谷中の校長先生が実施された哲学対話は、発信力・対話力を高めることに繋がり、児童生徒が主導で授業を展開することが、小学校での探究型の学びの基本的なスタイルである。このような学びが、学年を問わず学園全体で実践していくことが重要である。

## (2) プロジェクト会議について

### ①【第12回プロジェクト会議（令和5年12月4日（月））主な会議内容】

- ・中学校教員による小学校への乗り入れ授業、3校合同のオンライン集会及び引き渡し訓練、ごみのポイ捨て防止啓発ポスターの作成、わが町・未来探究科の取組について、検討したことを報告しました。

### ②【第13回プロジェクト会議（令和6年1月29日（月））主な会議内容】

- ・中学校教員による小学校への乗り入れ授業、わが町・未来探究科の今後の取組、ごみのポイ捨て防止啓発ポスターの作成について、検討したことを報告しました。

## (3) 児童生徒の取組について

### ①高谷中学校の校長先生による「国語」の乗り入れ授業の実施（12月12日（火））

- ・高谷中学校の校長先生が信篤小学校の6年生に、国語の「話し合うこと」の力を身に付けさせることを目的として「哲学対話」の授業を実施したことを報告しました。
- ・授業を終えた児童からは、「友達の意見を聞いて、自分では発見できなかったことがいっぱい出てくることが、学び合いのよさだと思った。」などの感想が寄せられました。

### ②信篤三つ葉学園1月集会（3学期始業式）の実施（1月9日（火））

- ・3学期の始業式に信篤三つ葉学園1月集会を実施したことを報告しました。

### ③信篤三つ葉学園「特別支援学級の交流学習」について（1月11日（木））

- ・学区の中学生との交流学習をとおして、今後の中学生活への見通しをもてるようにすることや相互理解を図り親睦を深めることを目的に実施したことを報告しました。

### ④中学校の美術科教員による小学校への乗り入れ授業について

- ・1月15日（月）と1月22日（月）に二俣小学校と信篤小学校の4年生を対象に、高谷中学校の美術の先生が「人物の描き方」の授業を実施したことを報告しました。
- ・授業を終えた児童からは、「人物の描き方を教えてもらい、今年の目標にしていた絵を上手に描くことができそうでうれしかった。」などの感想が寄せられました。

### ⑤学区小学校授業公開について

- ・高谷中学校の授業を見学することで、中学校生活への理解を深める一助とすることを目的に、1月23日（火）に信篤小学校、2月16日（金）に二俣小学校の6年生を対象に、高谷中学校の「授業公開」を実施したことを報告しました。
- ・授業見学を終えた児童からは、「英語の授業は、小学校と比べて難しいことを勉強していてすごいと思った。」などの感想が寄せられました。

**協議** 以下のことについて、市川市教育委員会からの説明の後、協議を行いました。

(1) 高谷中ブロック義務教育学校の設置に関する検討委員会の今後の方向性について

・現在、義務教育学校の設置に関する検討委員会は、取組の報告が中心となっている状況です。小中一貫型小学校・中学校の取組が進む中で、昨年度から、合同の学校運営協議会を開催しており、今後、信篤三つ葉学園と地域の方々の関りを深めるためには、実効性の高い、検討体制が必要と考えています。

そのため、本検討委員会の役割を、合同学校運営協議会に移行することについて、協議しました。

【協議の内容】(○：委員長及び委員 ●：事務局)

- 現在の検討委員会は取組の報告が中心になっているとのことでした。取組の報告についても重要ではありますが、今までは検討委員会としての大きな役割もありました。様々なことを解決してきたので、今後は学校運営協議会にバトンタッチしても良いのではないかとこの時期に来たと思います。いかがでしょうか。
- この会議をなくすということでしょうか。
- 合同学校運営協議会に役割を移行させていただきたいと考えております。
- 先日、信篤小学校で合同学校運営協議会が開催されました。この会議に設置検討委員会のことも含めると、中身が薄くなってしまいがちなので、検討委員会としての時間を取った方が良いのではないのでしょうか。
- 現時点で検討することがなく、検討委員会としての役割を終えたのではないかと考えるので、移行してよいと考えます。合同学校運営協議会で、学校に携わるより多くの方々に、取組の内容を報告する形で、良いのではないのでしょうか。
- 検討委員会設立当初から参加しており、検討委員会の役目を終えたかなと感じています。合同学校運営協議会の委員もしており、そちらで話を深めていくことも充分可能だと思います。
- あるタイミングで学校運営協議会に移行することは学園の今後の発展のためにも良いことです。このことについて、いつ結論を出しますか。
- 本日での会議が終了というわけではございません。資料でお示ししたとおり、どの段階で一区切りをつけるのかということについては、この3ヵ年を研究期間としておりますので、その成果と課題の取りまとめというものを作りたいと思っています。取りまとめにより、検討委員会を一度閉じさせていただければということで今回ご提案をさせていただいております。なお、これにより義務教育学校の検討を今後しないということではありません。事業が継続されれば検討する必要が出てくるかと思えます。その際に合同学校運営協議会の会議体の規模が大き過ぎるということであれば、もう一度再編する必要があるのではないかと思います。しかし、現時点ではそこまで事業が進展していないため、委員からもご意見をいただいておりますとおり、どちらかという、検討委員会では地域との関わり方を深めるようなプロセスが難しいという課題がありますので、より多くの方からご意見をいただきながら、実効性のある組織体にしていきたいということが今回の狙いであると考えております。そのため、本日ある程度ご了解いただけましたら、次回の会議では成果と課題の取りまとめをさせていただき、それをもって一度結論を出させていただきたいと考えております。
- 次回の開催は6月を予定しているので、それまでに委員の方同士で機会があれば話題にしていればと思います。それでは、この方向で進めさせていただきます。

<次回の義務教育学校の設置に関する検討委員会の開催予定>

日程：令和6年6月ごろ 場所：信篤公民館（予定）

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課  
Tel:047-702-5355/Fax:047-383-9203